

大日本帝國

安心絕命天命教全

著者 林 忠

303  
630





予は宇宙の大靈に觸れて  
が悟道したる  
間萬事皆な天命也  
の命ずる數理に因つて  
支配せられる人生觀の福  
音を本書に説明せり

林

忠



明治  
45. 4. 24  
内交





大日本帝國



天命博士 林忠

# 安心絶命天命教

安心絶命の理解

人間は何時も時始めて安心絶命するので平素安心立命するのでなく平素は如何なる苦難に當る者な  
るも如何なる苦難に當るものなる哉人間の一世は圓りがたく變化するものにて故に人間死する  
時始めて安心絶命するもので平素安心立命するのではありません依て茲に安心絶命と願はしたので  
あります



天命

林忠著

- 第一 人間萬物皆な天命ならざるはなし
- 第二 天は廣大無遍にして圖り知る能はず
- 第三 人間の定命は平均五十年皆な天命なり
- 第四 人間の一世は天の爲す處種々無量世界の役者にて皆な天命なり
- 第五 人間の一世を天より瞰下する時は只の一日の如し
- 第六 人間萬物時機在つて生じたる者なり何んこなれば世界の始め大天變在つ



て而して後ち陰陽合對にて生じたる者なり然りと雖も萬物皆な方土に依りて  
同種違形の者を生じたる事明なり然るに禽獸草木の如きは方土に依りて大  
る違形あり人間は方土に依りて變色あるのみ然りと雖も性質の相違する事禽  
獸草木の違形よりも大なり又世界中人種の相違する事は方土に依りて明かなり  
第七 人間の身体に生じる處の虱みの如きものにても時機在つて生じる者なり  
然りと雖も陰陽合對に依りて生じる者なり又頭部に生じる處の  
虱みと身体に生じる處の虱みとは大なる變色ありて是れ世界中人間の生じたる  
變色ある理も皆大小と雖も一様なる事明かなり故に虱みの如きものと雖も  
も天の力に依りて生る事毫も疑なし

第八 神佛皆な無形なり無形の力ら廣大無遍にして圖り盡す能はず

第九 神は人間に不公平なき事毫も疑ひなし

第十 人間社會は種々無量なる苦業惡業の渡世なす者未來は樂業を受くる事疑  
ひなし又現世に在つて樂業をなす者未來は苦業惡業を受くる事是れ天命なり

又此の世に在つても種々様々に業務の變化する事明かなり

亦人間社會は皆な天命にて觀念するの外なし何んとなれば一國の君主が兵士を君命にて戰場に出  
場なすしめ敵の首を刺したる者を以て戰功となし名譽の勳章を興へ君命にて其の罪なきは如何な  
る理由なる哉是則ち君命にて其の罪なき者なり然らば兵士は戰場の役者なるか是則ち役者なり故  
に人間の一世も皆な如斯く天命にて此の世の役者なる事明かなり故に人間たるもの此世に罪あり  
と雖も未來は罪なき事毫も疑ひなし何んとなれば兵士が戰場に出場して人の首を刺し其の罪無き  
理と皆な同一なる事明かなり故に人間たる者此の世に罪ありと雖も未來は罪なき事毫も疑ひなし  
亦此の世の苦は未來の樂なる事明かなり

第十一 未來に云ふは皆な此の世に生まれ還へる事を云ふなり

第十二 樂業に云ふは此の世の安樂なる資産家に生れ來て安穩なる業務に従事  
する事を云ふなり

第十三 苦業に云ふは此の世の窮民の家に生れ來て種々様々なる下賤の職業に  
従事する事を云ふなり

第十四 惡業に云ふは此の世に盜人等に生れ來て惡事を働くものを云ふなり  
即ち人間社會より排斥せらるゝ盜人も社會の一つの道具たる事明かなり何ん



こなれば世界中錠鍵等にて渡世なし得る者幾千萬人なるを知れ是れ盗人のあ  
る所以なり又世界中は萬事如斯なる事を知るべし

第十五 人間死すれば靈魂は皆無形に歸するなり無形は天なり天は宇宙なり宇  
宙間皆神なり故に靈魂も皆無形に歸するなり然りと雖も靈魂皆  
な此世に生れ還るものにて毫も疑ふべからず

佛法にては人間死すれば靈魂は十萬億土に行くこか極樂世界に行くこか地獄  
に行くこか基督にては天國に行くこか云ふは皆な法辨なり地獄極樂は皆な此  
の世に有る事明かなり

第十六 人間の靈魂は皆な此の世に生れ還るものにて決して十萬億土なり天國  
に行く者に非ず死すれば皆な此の世に幾千度こなく生れ還るものにて毫も  
疑ふべからず皆な天命なり

第十七 人間は動物中慾の充滿せる性質のものにて命終りたる後ちにては極樂  
世界に行くこか天國に行くこか無量なる充慾を惹き起す者にて動物中善良な

る動物云ふ能はざる事明かなり

何んとなれば人間は慾を充滿し居る性質の動物にて地球外の事迄圖り居るものなれ共是れ等に就  
ては如何程圖りても限りなき無量なる宇宙間にて圖り盡す能はざる事明かなり何んとなれば釋迦  
以來此方三千年の今日に至るも宇宙間の事は忙然たる事而已に留まり居る者にて如何程研究して  
も圖り盡す能はざる事明かなり

亦人間たるもの慾の充滿し居る性質の証據は豊臣秀吉を看よ一國を得れば十國を十國を取れば天  
下を望み天下を取れば外國を實に限りなき充慾を惹き起す動物なる事明かなり

人間たるもの此の世に如何なる大伽羅に住ひし居ると雖も皆な五十年乃至百年の内には必ず我が  
家を立去り無形に還らなければなりません然るに夫れをも願みず只々慾一方に日暮し居るの  
は何んとした事でありませう實に驚くの外ありません然りと雖も此の安心絶命天命教を讀み慎  
意を以て精神を込めれば如何なる人にも慈善心を惹き起し忠孝仁義の道を明かならしめ以て國  
家安泰たらしめ社會の安寧を保つ根本なり

第十八 人間界は種々無量なる區別あれども死すれば皆な一樣にて靈魂は無形  
に歸するなり無形は毫も寒暖苦樂を覺知する者に非らず皆天なる事を知るべ  
し

第十九 各宗教にては人間此の世に在て悪事をなす者未來は地獄に行くこ云ふ



は人間を善道に導く處の法辨にて善悪は皆な天の爲す處明かなり

第二十 人間社會は天の大役者にて神は種々無量なる人間を此の世に出さしめ世界の活動をなさしむる者にて皆な天命なる事を知るべし釋迦孔子基督も其他英雄豪傑も皆な世界の役者にて之れ皆な天命なり

第二十一 神は此の世に一樣の人間を出さしむる事は容易の事なれ共人間社會は種々無量なる人間無くては此の世渡り六ツケ敷故に如斯き無量なる人間を出さしむる者にて是れ皆な天命なる事を知るべし

第二十二 人間此世に在つても種々様々に業務の變化する證據は我國維新の際に於ける高嶋嘉右衛門磯野小右衛門氏等を看よ其の以前我國の國法を犯し重罪犯として獄に繋かれ居たるも幸にして明治維新の世となり大救されたる人物なるを然るに今日に至りては大日本帝國屈指の富豪となれり是れ皆な天の爲す所明かなり

## 第二章 末世

第二十三 人間たる者は慾の充滿し居る性質の者なれば世の末は必ず世界の大戰争を惹き起す事疑ひなし

第二十四 人間に於て電氣力を盛に應用する今日に至りては世の末世に近づきつゝある事を知るべし又人間の道德は地に落ちつゝあり

第二十五 世の末には必ず世界の大天變ある事を知るべし

第二十六 世界の大天變ありたる後ち又鎮まつて世の始めとなり萬物生じ開け行くものなり

## 第三章 精神

第二十七 人間の一生は精神に依て世界に大變動を惹き起す者なり精神は天なり何んとなれば古人の語にても精神一到何事かならざらん云ふ語あり又女の精神岩でも徹すと云ふ語あり是れ皆な天なる事を知るべし

第二十八 我が大日本帝國の天理教を看よ元主は世の知る如く無學の一婦人なり然りと雖も精神に依て今日は如斯き獨立の教會管長となれり是れ皆な精神



の至る處明かなり精神は神の分子なり

#### 第四章 世渡り

第二十九 人間の世渡りは種々無量なる階級あれ共皆な天命にて觀念するの外なし故に無謀叛意なる事をなさざる様注意すべし人間たるものは時機來たれば花も咲き樂も得らるゝなり又人間此の世に在て苦業なしたる者未來は必ず花の咲く事疑ひなし神は人間に不公平なき事疑ひなし故に安堵して處世する事肝要なり決して疑ふ勿れ此の世の苦は未來の樂なり何んこなれば古人の語にても苦あれば樂あり樂あれば苦ありと云ふなり又西洋人の語にても悲あれば喜びあり喜びあれば悲ありと云ふは是皆な同説にて天命なる事を知るべし又日没すれば夜明くること云ふも皆な同一なる事明なり

#### 第五章 神力廣大

第三十 天は廣大無遍にして人知力量を以て萬物の理を圖り知る能はざる事明

かなり何んこなれば年々歳々地中より生じ來て鳴く處の蟬の如き者にても如何なる理由にて此の世に生じ來る者なる哉亦如何なる理由にて鳴く者なる哉人智に於て其の理を知る能はざる事明かなり然るに人間の靈魂に於ては如何なる理由なる者なる哉人智に於て知る能はざる事明かなり故に天に地に向ひ恐懼するの外なし又謹み慎むの外なし

#### 第六章 有形無形

第三十一 天地宇宙間には有形無形の外なし 何んこなれば有形皆な無形より生じつゝある事明かなり其の證據は人間夫婦間何れが先きなるか器械運轉の念を惹き起したるが是れ則ち無形なり然して后ち器械運轉にて如何なる英雄豪傑と雖も皆な是れがため此の世に生れつゝある事明かなり又人間此の世に生れ出でたる時命終る迄の事は皆定まり居る者にて善惡皆な天命なる事明かなり

第三十二 雨は天より一様に地に降雨なさしむる者なれ共其の雨の降雨する處



種々無量限りなく雨は一樣の雨なれ共皇室に降雨する雨もあり又下等社會に降雨する雨もあり美人の口中に入る雨もあり悪徒の口に入る雨もあり實に無量なり然りと雖も其の雨又蒸發して天に昇りて雲となり雲變じて雨となり其の雨又地に降雨して先きに皇室に降雨したる雨今は下等社會の上に降雨する有様なり又下等社會に降雨したる雨今度は皇室の上に降雨する有様にて實に天は雨の如きものにて不公平なく降雨なさしむる者にて恐懼するの外なし何んとなれば雨の如きものにて無形となれば有形となり有形となれば無形となさしめ實に限りなき有様にて天は不公平なき事毫も疑ひなし故に人間たる者に於ても如斯き有様にて有形となれば無形となり無形となれば有形となさしめ實に限りなき有様にて天は不公平なき事是れ亦疑ひなし

第三十三 世には千里眼とか催眠術とか呪禁とか或ひは咀ふとか御祈禱とか稻荷をろしとか眞言秘密の法とか云ふのは皆な精神にて何事も精神に依つて事の成る者にて精神は神の分子なり千里眼の如きは己れが己れに催眠に懸けて

千里先の事にて知る者にて決して不思議にあらず皆精神の徹る處明かな

第三十四 人間たるもの神社佛閣に向て信仰なすは如何なる目的なる哉是則ち自己の希願する處を達するため神社佛閣に向て希願する者なり然らば神社佛閣に神佛の存在するものなる哉否哉  
是れ神社佛閣には神佛の存在する者にあらず然らば何れに存在する者なる哉是則ち人間の精神に存在するものにて何事も精神に依て事の成る者にて精神は神の分子なる事明かなり故に人間たる者慎意を以て精神を込むれば如何なる事にて徹る事毫も疑ひなし

第三十五 唱言

唱詞は不撓精神を込め毎朝唱ふれば神の惠あるべし是れ精神の通ずる處なり人間たる者毎朝天に向ひ祈る處の唱詞は左の如し  
柏手をなし拂ひ給ひ清め給ひと數回唱へ



天は廣大無遍なり天は廣大無遍なり  
天は我が主なり天は我が主なり  
天は我が希願する處好き精神に基き幸福を與へ助け給はん事を謹み謹み申し  
唱へ拍手をなすべし

### 附 屬

### 天道散人豫言

幸福を得る秘密の法  
人間の世渡りは何事も調子に依て考ふれば幸福を得る事疑ひなし  
大日本帝國は世界の高位にある事を知るべし  
是れ天命なり然るに雖も國民たる者寸時も武士道を忘るゝなかれ帝國は商業國にあらず武國なる事を知るべし

明治四十五年四月十日印刷  
明治四十五年四月十五日發行

安心絶命天命教全  
定價金三十錢

著作  
登録

不許複製

發行所

林 忠

大阪府北區會根崎上三丁目百六十二番屋敷

著作兼 發行者 林 忠

大阪府北區會根崎上三丁目八十七番地

印刷者 生駒 利義

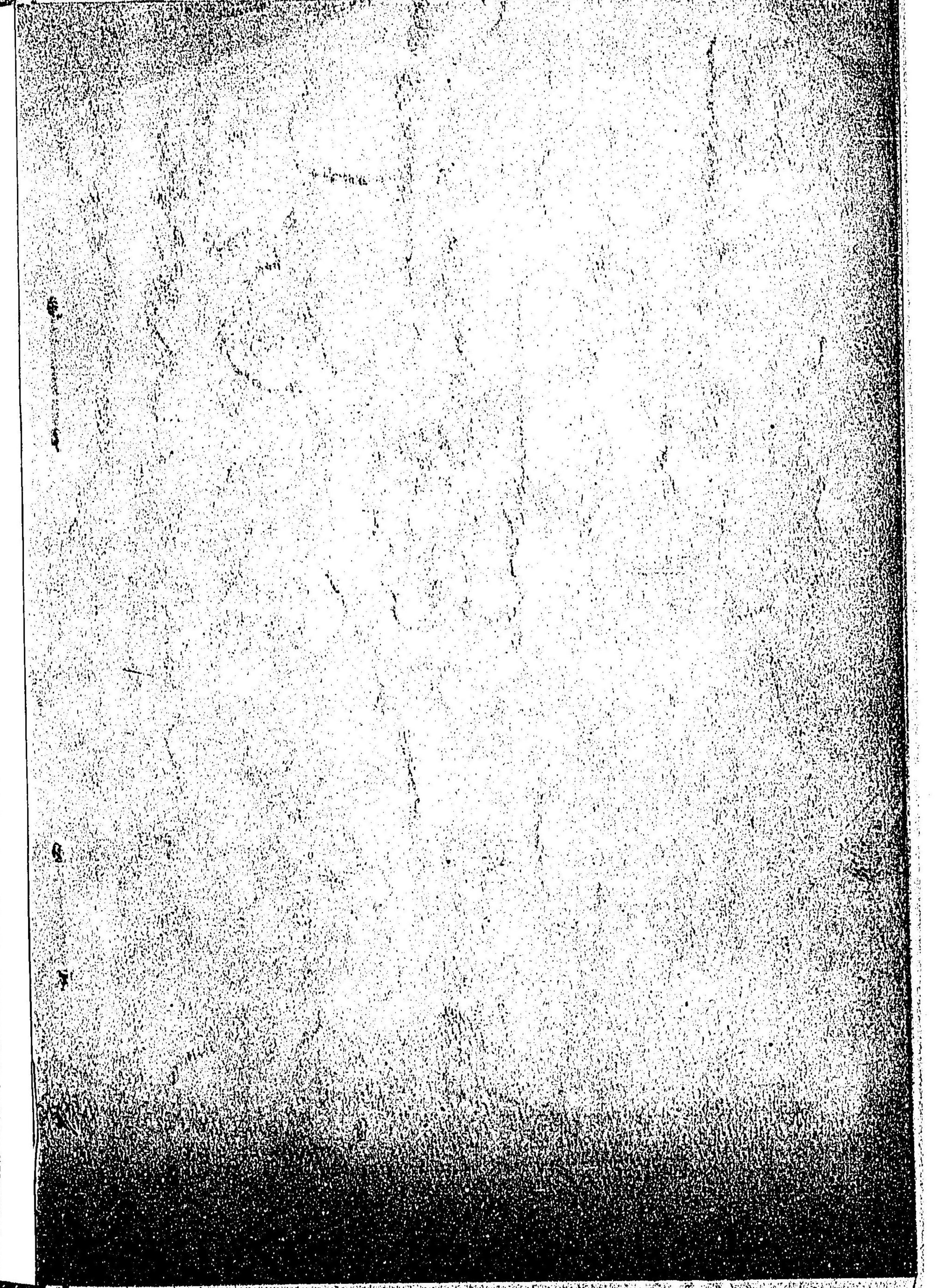
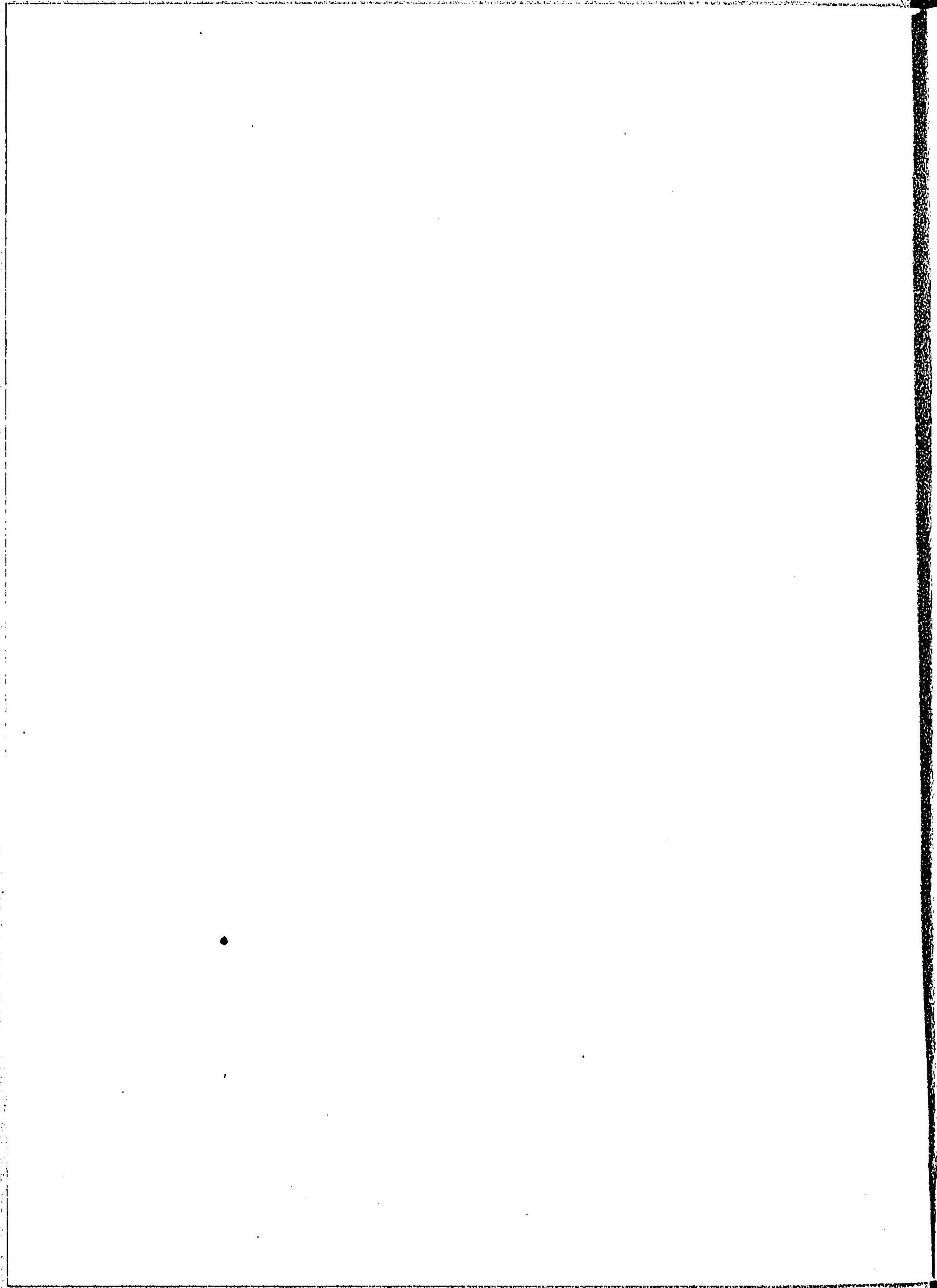
大阪府北區會根崎上三丁目百六十二番屋敷



303

630











特 55  
84

安心絶明天命教

国立国会図書館

013808-000-7

特55-84

安心絶命天命教

林 忠 / 著

M45

ABB-0017

